

<利用条件>
本書は、本書の内容及び表現が変更されないこと、および出典を明示いただくことを前提に、無償でその全部または一部を複製、転記、引用して利用できます。なお、全体を複製された場合は、本書にある著作権表示および利用条件を明示してください。
本書の著作権者は、本書の記載内容に関して、その正確性、商品性、利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、特許権、著作権、その他の権利を侵害していないことを保証するものではありません。
本書の利用により生じた損害について、本書の著作権者は、法律上のいかなる責任も負いません。

Copyright (c) XMLコンソーシアム 2010 All rights reserved.

概要

期間： 2009年11月24日 - 2010年1月21日
回答数： 80会員

全体傾向 会員業種
満足度
嬉しい意見

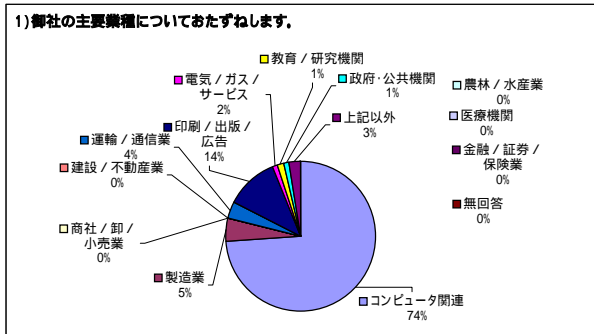
大きな変化は見られない。
大いに満足 + 満足 = 87.5%
XML普及を通してソフトウェア産業発展に大きな貢献をしている
XML活用企業間の知識情報交換の場、交流の場となっている
競合関係やメーカー / ユーザ等の枠を越え、10年近くに渡りXML関連技術の普及・啓蒙に寄与したと考えるため、
情報や知見の入手に大いに役立った。自社内のスキルアップに大きな貢献があった
これまで同様、情報収集と、部会へ参加することによる人的交流とスキルアップに対する期待が大きい。

参加する期待やメリット

1) 御社の主要業種についておたずねします。

コンピュータ関連	59	73.8%
製造業	4	5.0%
商社 / 卸 / 小売業	0	0.0%
農林 / 水産業	0	0.0%
金融 / 証券 / 保険業	0	0.0%
建設 / 不動産業	0	0.0%
運輸 / 通信業	3	3.8%
医療機関	0	0.0%
印刷 / 出版 / 広告	9	11.3%
電気 / ガス / サービス	1	1.3%
教育 / 研究機関	1	1.3%
政府・公共機関	1	1.3%
上記以外	2	2.5%
無回答	0	0.0%
合計	80	100.0%

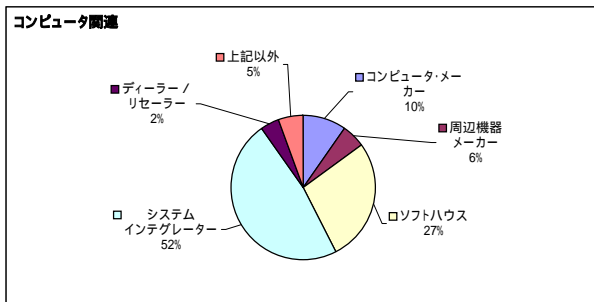
上記以外 [内容]
機械設計・CAE、技術ドキュメント制作



→ コンピュータ関連

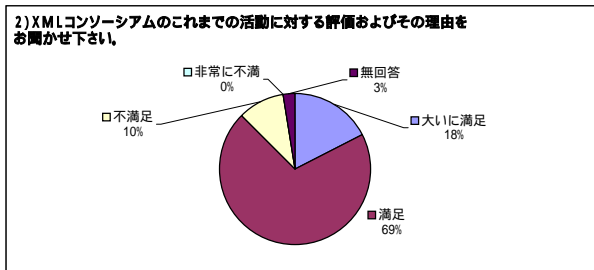
コンピュータ・メーカー	7	9.6%
周辺機器メーカー	4	5.5%
ソフトハウス	20	27.4%
システムインテグレーター	35	47.9%
ディーラー / リセラー	3	4.1%
上記以外	4	5.5%
合計	73	100.0%

上記以外 [内容]
ITコンサルタント
情報通信サービス業
ソフトウェア製品開発販売



2) XMLコンソーシアムのこれまでの活動に対する評価およびその理由をお聞かせ下さい。

大いに満足	14	17.5%
満足	56	70.0%
不満足	8	10.0%
非常に不満足	0	0.0%
無回答	2	2.5%
合計	80	100.0%



「説明2: XMLコンソーシアムのこれまでの活動に対する評価および選択された理由」サマリー
コメント数

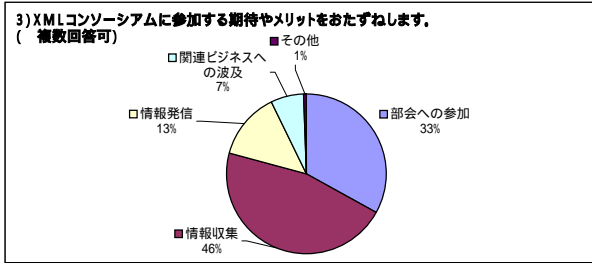
回答母数: 80社

大いに満足の理由:	14社/80社	7 人脈を広げるとともに、知見を得ることができたから 企業の枠を超えた技術交流が図れ、様々な分野における知見を収集出来る XML活用企業間の知識情報交換の場、交流の場となっている XMLに関連した種々の情報や知見が入手できた 他にはない情報交換、製品アピールの機会がある
参加者のスキルアップ	3	長きに亘り多くのことを経験・学ばせていただきました 先駆的な技術の有用性、利活用の方法などが体験、習得できる場として活用できた 情報や知見の入手に大いに役立った。自社内のスキルアップに大きな貢献があった
XML利活用推進をリード	3	XML普及を通してソフトウェア産業発展に大きな貢献をしている 競合関係やメーカー / ユーザ等の枠を越え、10年近くに渡りXML関連技術の普及・啓蒙に寄与したと考えるため XMLの利活用推進をリードし貢献してきた。
充実した活動	2	活発な部会活動、Day、Week等セミナーによる情報発信 9年間、環境の変化に対応しながら、充実した活動を継続している
会費の安さ	1	会費が安い
満足の理由:	56社/80社	16 色々と新しい技術を知る事ができる ソフトウェア技術のアンテナとして良い活動であった XMLに関するタイムリーな情報提供 10 各会員企業の最新動向の把握と意見交換ができること 他社との技術交流の機会を多く持てた 8 積極的に情報発信されているので セミナー受講、部会活動参加等で最新技術動向を取得
他社との交流、人的交流、情報交換	10	
活発な活動(セミナー、部会、情報発信など総体)	8	

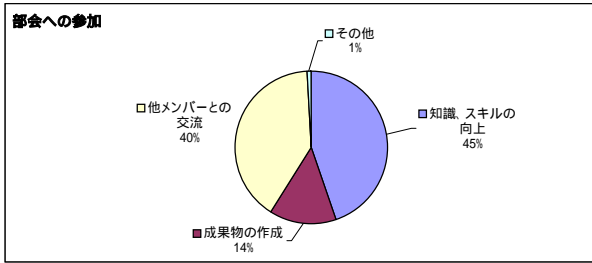
参加者のスキルアップ	6 参加しているメンバーは技術力の向上につながっている 現場の希望するメンバーに情報収集などの機会を提供することができた セミナーや勉強会など多く開催してくれて、勉強になった
XMLの普及に貢献	4 XMLの普及活動に非常に頑張っていると思います XMLの普及に大いに貢献した
活動テーマが良い	3 時流にそったテーマの扱い及び成果物を出し続けていること 実務、実践を伴っているものだから
成果	3 気象庁等着実に成果を出している
多様な分野への展開	2 XMLを起点に多様な分野へ視野を広げていることについて、非常に評価している
精力的な活動	2
自由な活動	1 自由な活動に関しては満足している
柔軟な運用・方針展開	1
ビジネス上のアライアンスの可能性	1
不満点	
社内展開にはつなげられていない	1
一部部会への参加者が少ない	1
内輪寄りになりつつある	1
不満足の原因:	8社/80社
<p>コンソーシアムの活動というよりも、こちらが、なかなか参加できていないためです。 XMLコンテンツの掘り下げや標準化活動へのコミットが足りない。 名古屋での各種イベントがないため XMLフォーマットの標準化の推進が特定業種のみ、に限られてしまったため あまり役に立つ情報が得られなかった 思っていたよりも会合に参加することが出来なかった 活動の参加方法などの連絡方法などの通知がない</p>	

3)XMLコンソーシアムに参加する期待やメリットをおたずねします。(複数回答可)

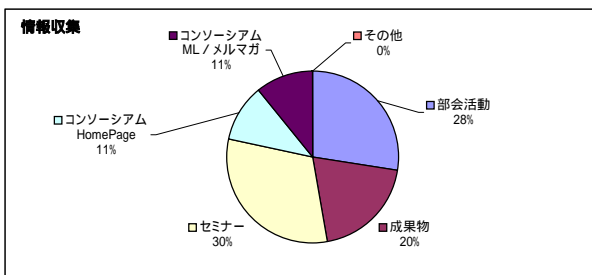
部会への参加	54	32.9%
情報収集	76	46.3%
情報発信	22	13.4%
関連ビジネスへの波及	11	6.7%
その他	1	0.6%
合計	164	100.0%



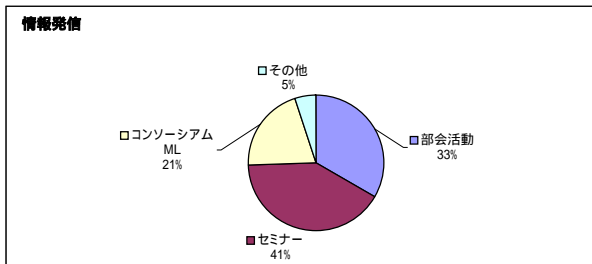
部会への参加		
知識、スキルの向上	48	44.9%
成果物の作成	15	14.0%
他メンバーとの交流	43	40.2%
その他	1	0.9%
合計	107	100.0%



情報収集		
部会活動	46	27.5%
成果物	33	19.8%
セミナー	52	31.1%
コンソーシアムHomePage	18	10.8%
コンソーシアムML/メルマガ	18	10.8%
その他	0	0.0%
合計	167	100.0%



情報発信		
部会活動	13	33.3%
セミナー	16	41.0%
コンソーシアムML	8	20.5%
その他	2	5.1%
合計	39	100.0%



4 - 1) 3年後の企業情報システムを考えると、注目している技術やその応用についてお聞かせ下さい。(自由回答)

サマリー方法: 回答の自由記述文中(社)に出てくるキーワードの数を主旨を理解してカウント
 ある社のコメント中に同義のキーワードが複数出てきても、1とカウント
 ただし業界関連に関しては、作成者独自の判断の基に、出てきたキーワードから業界を類推したものあり。(例:組版 出版)

技術関連	
クラウド	33 データセンター管理技術、大規模分散処理、Key Value Store、プライベートクラウド、XaaS、SaaS、PaaS
SOA	9 業務プロセスのサービスコンポーネント化、システム連携技術
セマンティック	7 セマンティックWeb
携帯デバイス	7 Android、スマートフォン、板型PC、携帯用OS
仮想化	7 サーバ仮想化技術
RIA	5 Ajax
BPM	4
SNS	4 企業ソーシャルネットワーク
HTML5	3
グリーンIT	3
マッシュアップ	3 シチュエーションアプリ、エンタープライズマッシュアップ
セキュリティ	2 電子署名および文書保管
検索技術	2
知識情報処理技術	2 知識基盤社会
DITA	1
DOA	1
UC	1
WebOS	1
XLIFF	1
XML	1 XMLスキーマ間の対応、変換
XMLDB	1
アクセシビリティ	1
グリッド	1 分散データベース
サービス工学	1
メタデータ管理	1
専用デバイス	1
業界関連	
印刷・出版・広告	3 出版用XMLスキーマ、組版技術、多言語対応とグローバル対応Webマニュアルの進化
通信	3 ネットワーク機器自動設定技術、ホームICT、メール以外のコミュニケーション手段
その他	
Component Contents Management System	
Google Wave/Twitter等のコラボレーション技術	
OfficeOpenXML	
アイデア管理、予測市場	
システム要件定義	
ビジネスパフォーマンス管理	
ビジネスモデリング	
法裁	

4 - 2) 3年後の企業情報システムを考えると、ITにより改善すると考えられる業務や業種の課題をお聞かせください。(自由回答)

サマリー方法: 回答の自由記述文中()社)に出てくるキーワードの数を主旨を理解してカウント
ある社のコメント中に同義のキーワードが複数出てきても、1とカウント
ただし業界関連に関しては、作成者独自の判断の基に、出てきたキーワードから業界を類推したものあり。(例:組版 出版)

業務や業種	課題
企業内情報活用	ERPや情報の整理が容易になること システムやインフラのコスト増 7 データの量が大量過ぎて分析出来ない、詳細すぎてノイズが多すぎる 情報システム、文書管理が課題 情報保護についてのニーズが高まる
システム開発	4
コスト削減	3 クラウド技術によってコスト削減がすすむ
変化対応力	3 多品種少量生産の工場ライン
マーケティング	2
ナレッジマネジメント	2
セキュリティ	2 RFIDによるセキュリティ強化
情報の電子化	2
システム保守	2 基幹業務システムの老朽化、セキュリティ対策としてのシンクライアント化へ障壁
業務間連携	2 各業務システムにおける統合や最適化
医療	2
意思決定支援	2
未来予測システム	1
品質分析、ソースコードメトリクス	1
大量データ処理	1
情報分析	1
情報検索	1
営業支援	1
コピキタス	1
ユーザビリティ	1
ホワイトカラー業務の生産性向上	1
非定型業務	1
データベース管理	1
地方自治体クラウド	1
情報共有	1
情報格納	1 企業情報や顧客情報を海外に配置することへの問題の改善
出版	1 再利用化、データ交換の汎用化
システム管理	1
サポート	1 ユーザーを交えた意見交換の場の運営
サービス範囲の拡大	1
グリーンIT	1 効果を数値化していく必要がある
教育	1
企業情報共有化	1
環境改善	1
IT資産管理	1
BPO全般	1
24時間対応	1

4 - 3) 3年後にITが活躍して伸びると思われる市場やビジネスについて お聞かせ下さい。(自由回答)

サマリー方法: 回答の自由記述文中()社)に出てくるキーワードの数を主旨を理解してカウント
ある社のコメント中に同義のキーワードが複数出てきても、1とカウント
ただし業界関連に関しては、作成者独自の判断の基に、出てきたキーワードから業界を類推したものあり。(例:組版 出版)

市場やビジネス	
クラウド	11 SaaS,PaaS,IaaS
モバイル	5 携帯電話、ウェアラブルの実用化
娯楽	3 映画、絵画、TV、音楽、マンガ
家電	3 インターネットとの接続
農業	2
電子出版	2
介護	2
マスク統合	2
ネット販売	2
システム連携	2
公共	2
AR	2
企業内システム	2
防犯	1
大量データ処理	1
新興国市場	1
情報提供	1
自動車	1
教育	1
環境	1
医療	1
ロボティクス	1
ライフログ	1
コピキタス	1
ユーザビリティ	1
マルチデバイス	1
マッシュアップ	1
マスコミ業界	1
マイグレーション	1
防災	1
ナレッジマネジメント	1
デジタルTV	1
セマンティック	1
全て	1
自動化	1
広告	1
組み込み機器	1
教育	1
環境	1
カーナビ	1
育児	1
Webサービス	1
TV会議	1
SNS	1

分析方法:

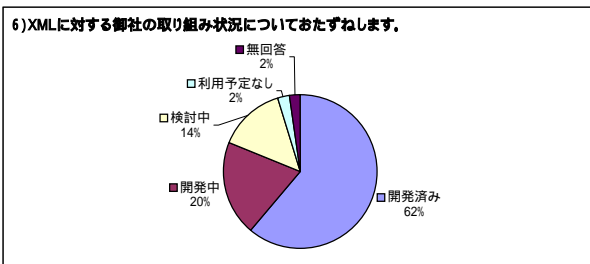
回答の自由記述文の中に出てくるキーワードの数をカウント。

[肯定的意見]	<ul style="list-style-type: none"> ご苦労様でした。 残り3ヶ月少々、最後の仕上げに向けてがんばりましょう。 設立よりIT業界の牽引役として、その任を十分果たしてきたと思う、関係者各位に対し敬意を表したい、いろいろありがとうございました。 結成当初の国内でのXMLおよび周辺技術の普及拡大という役割は達成していると認識しており今期での発展的解消に賛成しています。 長らくXMLやそれらにまつわる技術動向、業界動向、利活用技術、ビジネスへの展開のヒント等を得られて有益であったと感じます。 ありがとうございました。 XMLにコミットしている弊社にとっては3月で「XML」をメインとしたコンソーシアムがなくなってしまうのは残念です。 XMLの普及・発展に多大な貢献をしたと思います。 多くの企業が参加した活動を運営すること自体の困難さを克服してきた運営委員の方々に感謝します。 立ち上げから9年余、XML普及啓発の先導役として十分な役割を果たした。 設立時点から一貫して、しっかりした運営体制を保持し続けた。 地道ながら有意義な活動を継続し、数々の成果物を生み出した。 他組織・団体に対し標準化支援を実施し、標準仕様の策定に貢献した。 XMLのエキスパートを排出した。
[期待]	<ul style="list-style-type: none"> ぜひ次につなげていただきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。 さらにステップアップした新コンソーシアムの設立に期待します。 今後ともよろしくお願ひします。 XML コンソーシアム終了後の、次の一手に期待しております。 世の流れが仮想化&クラウドへと変わってきているので、それと組み合わせた形で調査や活動を期待したい。 今後も活動には期待しております。 これまでの資産を活用して、次ステップの活動を期待しています。
[要望]	<ul style="list-style-type: none"> 今後においても、我が国の最新情報を広める役割を担って頂けると、幸いです。 海外での主流の流れ把握・国内独特の対応把握などの情報をもっと知りたい 部会やセミナーなど自由に情報を共有できる環境を今後も維持していただきたい。 部会参加メンバーが少ない。もう少し部会活動が活発になると良いと思っています。 また特定分野が多いよう期待していたセキュリティやPKI分野の参加企業が少なかったのも残念。 後継団体がある場合はビジョンをはっきりさせて欲しい。 メーカーが自社の開発ツールやサービスを波及する場ではないコンソーシアムで有ってほしい。ほどほどには良いと思う。 XMLDBの導入事例などの紹介を多くしてほしい アンケートをHPから回答できるようにしていただけませんか? 情報提供が少ないと考えています。
[提案]	<ul style="list-style-type: none"> エンタープライズに偏りすぎている。コンシューマ危機(PCレス)やファクトリー関連ではこれからXML/Webサービスに迫るし、不足している機能の追加が始まる 国際標準を無視した業界のXML標準化活動への支援活動が、日本独自のガラバゴスの進化をとり、世界から孤立する結果となっていないか懸念する。

XML普及度アンケート

6)XMLに対する御社の取り組み状況についておたずねします。

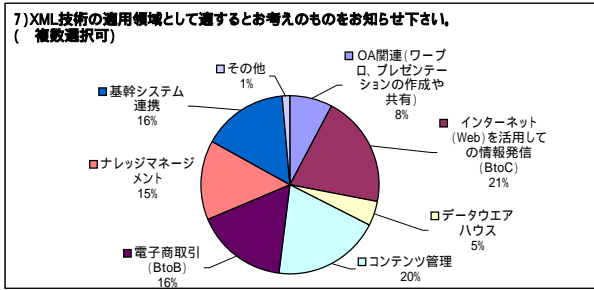
開発済み	52	61.2%
開発中	17	20.0%
検討中	12	14.1%
利用予定なし	2	2.4%
無回答	2	2.4%
合計	85	100.0%



開発済み [製品/業務名]
TX1/FlyingServ Web帳票
MISSION
顧客管理
Document Intelligence/Enterprise Search
RFIDシステム 物流支援・資産管理など
Word 2 XML、Word2Flash、文庫RSSのシステム、新旧文書比較ソフト、XMLとDTPをつなぐ制作管理システムXDM、SaaS製品見文録でドキュメントをみんなで作成
社内システムであり、開示できません
PRONEXUS WORKS
xfy Enterprise Solutions、xfy Blog Editor、xfy Planner、xfy DITAエディタ、xfy for 約款エディタ、xfy Report Writer for XBRL EDINET対応版 2009
コンテンツ管理や文書管理など
コンピュータ周辺機器全般
システム間連携ソリューション「SIPXS」
自動組版システム、カタログ制作支援システム等
WebSphere Application Server関連製品、DB2関連製品他多数
Mextractor個人情報フィルタ、5W1H抽出
Reflex、Reflex iText
マスカット、Zaimonなど
情報・知識共有基盤 InWeave(インウィーブ)、Prowise XML、SOAソリューション、XBRLソリューション XIRUTE(サイルート)
Cosminexus、HIRDB、COBOL2002 他
SIへの適用
AccessBook
FlexXML
Le-XAdESライブラリ
XMLコンバータ、ConfigPro
DataSpider
Imperva社 SecureSphere WAF (輸入販売)
CMS
テ辞蔵、記事蔵、BizPal、BTONIC
検索サービスSCOPE関連
ViewMaker for Web
IMPACT/DM、MODSPAD
XMLDB NeoCoreXMS; CyberLuxeon;
ASTERIA、Handbook、OnSheet、XML技術者教育
MPMeister、NAISTビデオアーカイブシステム、マルチメディア・ビジュアル・ポータル、ドキュメント制作システム、dbPOCKET、行政文書マネージャ、汎入力システム、など
WebSphere、DB2、InfoSphere、Rational、Lotus、Tivoliおよび各種サービス
気象庁防災情報XMLフォーマット
利用予定なし [理由]
製品のいろいろなか部分でXML 技術は活用されるようになっていますが、特別にXML 技術を表に出すようなものはありません

7)XML技術の適用領域として適すとお考えのものをお知らせ下さい。(複数選択可)

OA関連(ワープロ、プレゼンテーションの作成や共有)	21	7.9%
インターネット(Web)を活用しての情報発信(BtoC)	54	20.2%
データウェアハウス	12	4.5%
コンテンツ管理	52	19.5%
電子商取引(BtoB)	44	16.5%
ナレッジマネジメント	39	14.6%
基幹システム連携	41	15.4%
その他	4	1.5%
合計	267	100.0%

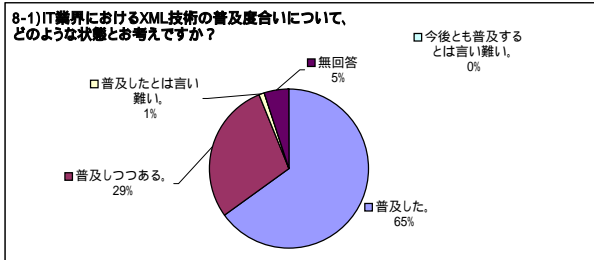


その他[内容]

組み込みセキュリティ、データ管理、通信
ドキュメントソリューション関連
部品表などの業務アプリケーション

8-1)IT業界におけるXML技術の普及度合いについて、どのような状態とお考えですか？

普及した。	52	65.0%
普及しつつある。	23	28.8%
普及したとは言いがたい。	1	1.3%
今後とも普及するとは言いがたい。	0	0.0%
無回答	4	5.0%
合計	80	100.0%



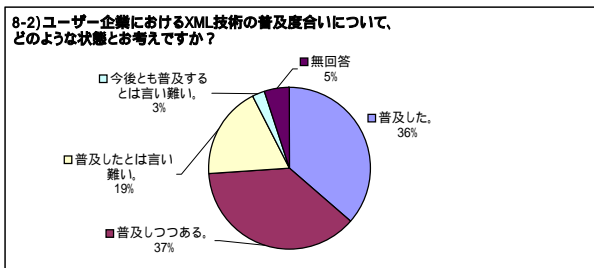
普及したとは言いがたい。[理由]

設定ファイルや限定された通信フォーマットとしての利用は十分に普及していると言えるが、業務データの蓄積には活用されていない
--

今後とも普及するとは言いがたい。[理由]

8-2)ユーザー企業におけるXML技術の普及度合いについて、どのような状態とお考えですか？

普及した。	29	36.3%
普及しつつある。	30	37.5%
普及したとは言いがたい。	15	18.8%
今後とも普及するとは言いがたい。	2	2.5%
無回答	4	5.0%
合計	80	100.0%



普及したとは言いがたい。[理由]

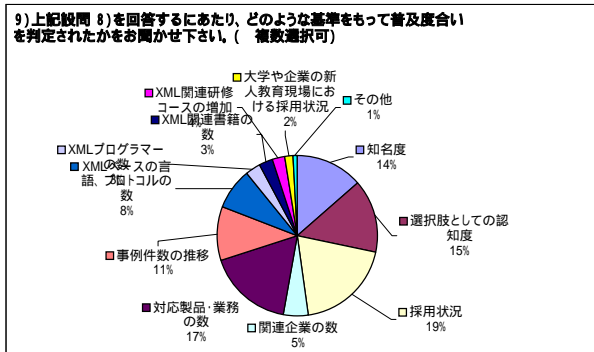
技術を利用する分野が限定される
表に立つ技術ではないので、普及している、いないという判別は付かないのでは、
まだ、XML技術メインの商談が発生していないため
バックエンドの仕組みとしては浸透し、単語の知名度もあがったと感じるが、活用するために必要な具体的な知識や理解が不足していると感じる。
中小企業はXMLを活用したり、XML/EDIに対応する気力も体力もない。
ベンダー丸投げになっているケースが多いと思うから
XMLの処理が難しいという認識のデベロッパーが多い
技術としては普及しても業種によってはXMLの特性が活かされていないため
自社で使える状況にするには、XMLの知識が必要だがユーザー企業には難解
一部ではXMLを使用していると思われるが、普及とまでは言えない
システムを構築する上での手段としてのXML技術の活用はあるが、ユーザとしてはXML技術を活用しているという認識はないため、普及したとは言いがたい
日常業務のなかで関連案件が非常に少ない

今後とも普及するとは言いがたい。[理由]

実際に利用するXMLデータは人が読めるものではない、よってあくまでも裏装技術であり、ユーザ企業が意識しなければならない技術ではない
クラウドコンピューティングにより、ユーザ企業にとってXML技術を特に意識することはなくなると思います

9)上記設問 8)を回答するにあたり、どのような基準をもって普及度合いを判定されたかをお聞かせ下さい。(複数選択可)

知名度	33	13.7%
選択肢としての認知度	35	14.5%
採用状況	47	19.5%
関連企業の数	12	5.0%
対応製品・業務の数	42	17.4%
事例件数の推移	26	10.8%
XMLベースの言語、プロトコルの数	20	8.3%
XMLプログラマーの数	7	2.9%
XML関連書籍の数	7	2.9%
XML関連研修コースの増加	6	2.5%
大学や企業の新人教育現場における採用状況	4	1.7%
その他	2	0.8%
合計	241	100.0%



その他[内容]

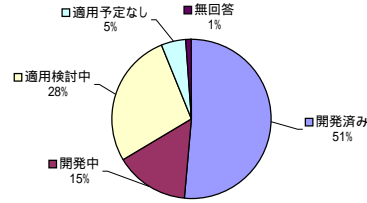
ユーザー企業のシステムにおいて実際に採用されている現状をみて
ユーザー企業の声

Webサービス普及度アンケート

10) Webサービスに対する御社の取り組み状況についておたずねします。

開発済み	41	51.3%
開発中	12	15.0%
適用検討中	22	27.5%
適用予定なし	4	5.0%
無回答	1	1.3%
合計	80	100.0%

10) Webサービスに対する御社の取り組み状況についておたずねします。

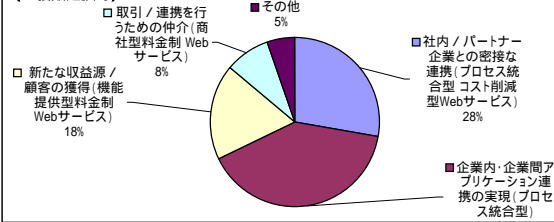


開発済み [製品/業務名]	
Glassfish	
弊社ASP事業	
ドキュメント系の組み込みソリューション	
WebSphere Application Server関連製品他多数	
API-match.com, Mextractr個人情報フィルタ/5W1H抽出 ASP提供版	
Pluxis Server	
交通費精算システム	
Reflex, Reflex iText	
中小企業支援サービス「BizMARE(R)」, Serv(シグマサーブ)など	
Prowise.XML, SOAソリューション	
SIへの適用。	
多数	
ConfigPro	
Imperva社 SecureSphere WAF (輸入販売)	
企業内システム連携	
デジタル 記事蔵, BizPal, BTONIC	
某業務管理システム	
ASTERIA	
Operius	
WebSphere, Rational 他	
適用予定なし [理由]	
[質問の意図不明]	

11) Webサービスを適用してみたい対象領域はどれですか? (複数選択可)

社内 / パートナー企業との密接な連携 (プロセス統合型)	36	27.7%
企業内・企業間アプリケーション連携の実現 (プロセス紛)	52	40.0%
新たな収益源 / 顧客の獲得 (機能提供型料金制 Web)	24	18.5%
取引 / 連携を行うための仲介 (商社型料金制 Web)	11	8.5%
その他	7	5.4%
合計	130	100.0%

11) Webサービスを適用してみたい対象領域はどれですか? (複数選択可)



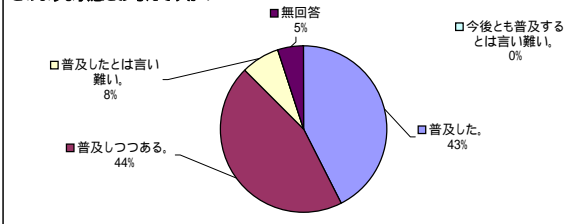
その他 [内容]	
中小企業向け SaaS サービス	
web api	
機器のダイナミックな Web 運動型 サービス	
アプリケーション間の連携 (疎結合)	
社内システム連携	

12) 日本における Web サービス技術の普及度合いについてお聞きします。

12-1) IT業界における Web サービス技術の普及度合いについて、どのような状態とお考えですか?

普及した。	34	42.5%
普及しつつある。	36	45.0%
普及したとは言いがたい。	6	7.5%
今後とも普及するとは言いがたい。	0	0.0%
無回答	4	5.0%
合計	80	100.0%

12-1) IT業界における Web サービス技術の普及度合いについて、どのような状態とお考えですか?

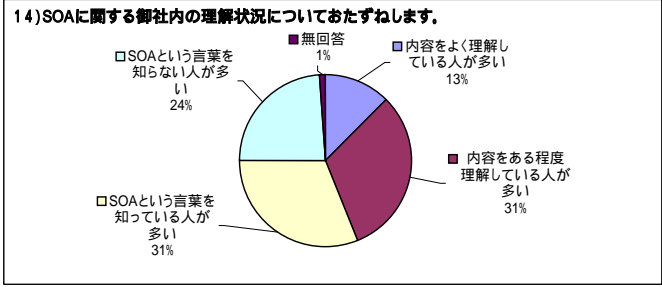


普及したとは言いがたい。 [理由]	
設計の基本形として Web サービスの選択がされていない	
提供されている Web サービスがまだまだ少ない	
今後とも普及するとは言いがたい。 [理由]	

SOAに関するアンケート

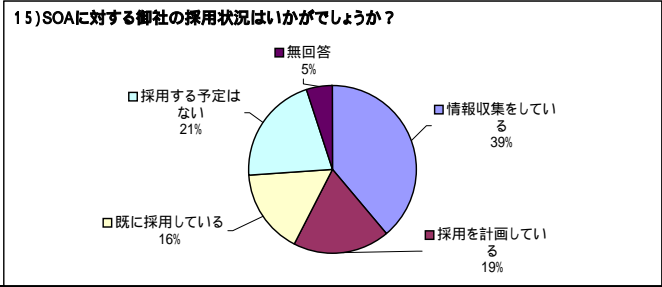
14) SOAに関する御社内の理解状況についておたずねします。

内容をよく理解している人が多い	10	12.5%
内容がある程度理解している人が多い	25	31.3%
SOAという言葉を知っている人が多い	25	31.3%
SOAという言葉を知らない人が多い	19	23.8%
無回答	1	1.3%
合計	80	100.0%



15) SOAに対する御社の採用状況はいかがでしょう？

情報収集をしている	31	38.8%
採用を計画している	15	18.8%
既に採用している	13	16.3%
採用する予定はない	17	21.3%
無回答	4	5.0%
合計	80	100.0%

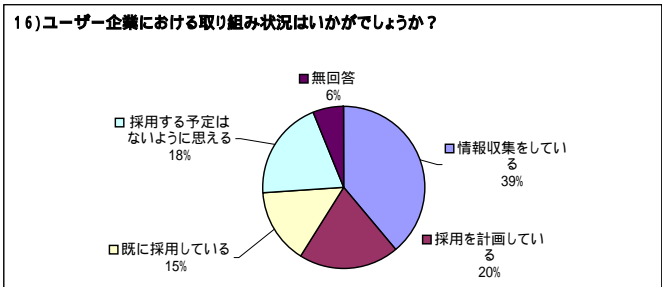


採用する予定はない[理由]

該当しそうなシステムが無い
まだよく理解できていない
質問の意味が不明なため回答できない、このSOAの定義は何ですか？
SOAのインターフェイス・定義が明確でないため
弊社の製品のアーキテクチャの範囲外であるため
社内システムとしては不要なため
SOAは重く複雑になりすぎ、IT実装が難しい、なので独自のアーキテクチャーを開発している
SOAが具体的に何を指すかが曖昧なので答えづらい設問です
今年既に大型投資は完了、数年後に改めて検討

16) ユーザー企業における取り組み状況はいかがでしょう？

情報収集をしている	31	38.8%
採用を計画している	16	20.0%
既に採用している	12	15.0%
採用する予定はないように思える	16	20.0%
無回答	5	6.3%
合計	80	100.0%

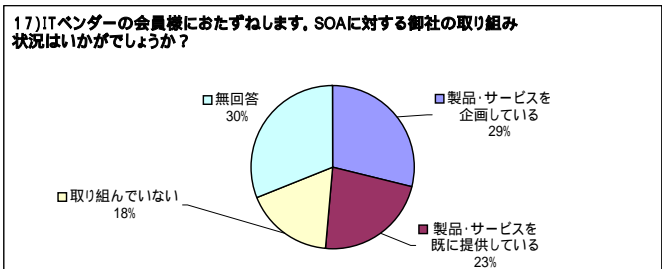


採用する予定はないように思える[理由]

質問の意味が不明なため回答できない、このSOAの定義は何ですか？
メリットがすぐに見えない
SOAは重く複雑になりすぎ、IT実装が難しい、なので独自のアーキテクチャーを開発している
SOAが具体的に何を指すかが曖昧なので答えづらい設問です
存在そのものを知らないと思う

17) ITベンダーの会員様におたずねします、SOAに対する御社の取り組み状況はいかがでしょう？

製品・サービスを企画している	23	28.8%
製品・サービスを既に提供している	18	22.5%
取り組んでいない	14	17.5%
無回答	25	31.3%
合計	80	100.0%



製品・サービスを既に提供している[製品/サービス名]

Sun Java CAPS
Web/SOAソリューション
SaaS製品見文録でドキュメントをみんなで作成
WebSphere Application Server関連製品他多数
Interstage Service Integrator, Interstage BPM Flow, Interstage BPM Monitoring, CentraSite, EVOLUO等
Pluxis
SOAソリューション
ITコンサルティング/SIへの適用
DataSpider/PIMSYNC
SOA適用サービス
ASTERIA
SW全ブランド、構築サービス、コンサルティング全般

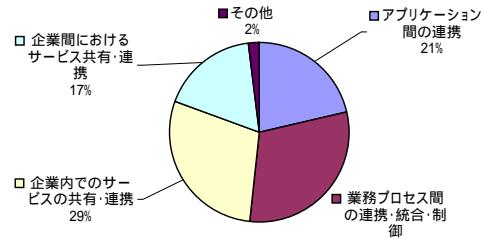
取り組んでいない[理由]

当社の業務においては具体的な利用イメージが不明
検討段階であり、現時点では具体的なプランはない
弊社の製品のアーキテクチャの範囲外であるため
SOAは重く複雑になりすぎ、IT実装が難しい、なので独自のアーキテクチャーを開発している
技術者がいない

18) SOAを適用してみたい対象領域はどれですか？ (複数選択可)

アプリケーション間の連携	32	21.5%
業務プロセス間の連携・統合・制御	45	30.2%
企業内でのサービスの共有・連携	43	28.9%
企業間におけるサービス共有・連携	26	17.4%
その他	3	2.0%
合計	149	100.0%

18) SOAを適用してみたい対象領域はどれですか？ (複数選択可)



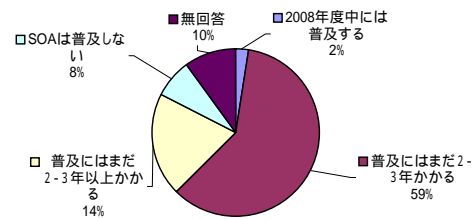
その他[内容]

SOAの定義が不明
SOAが具体的に何を指すかが曖昧なので答えづらい設問です

19) SOAの普及に関しておたずねします。

2008年度中には普及する	2	2.5%
普及にはまだ2-3年かかる	48	60.0%
普及にはまだ2-3年以上かかる	16	20.0%
SOAは普及しない	6	7.5%
無回答	8	10.0%
合計	80	100.0%

19) SOAの普及に関しておたずねします。



普及にはまだ2-3年以上かかる【何年以上】

5年くらい?
5年
よくわからない
5年以上
4?5年
4-5年程度
金融危機のあおりを受け、大型投資をするような状況にない
SOAの定義がより広範囲になってから

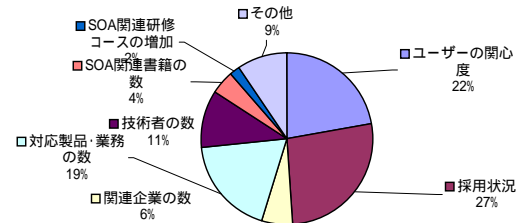
SOAは普及しない【理由】

必ずしもSOAの手法が全てにいいわけではない
SOAは重く複雑になりすぎ、IT実装が難しい。なので独自のアーキテクチャーを開発している
SOAが具体的に何を指すかが曖昧なので答えづらい設問です
まだまだ概念先行であり、具体性や投資対効果に対する懸念事項が払拭できない

20) 上記設問 19) に回答するにあたり、どのようなことを念頭において普及予測をされたかをお聞かせ下さい。(複数選択可)

ユーザーの関心度	31	22.3%
採用状況	37	26.6%
関連企業の数	8	5.8%
対応製品・業務の数	26	18.7%
技術者の数	15	10.8%
SOA関連書籍の数	6	4.3%
SOA関連研修コースの増加	3	2.2%
その他	13	9.4%
合計	139	100.0%

20) 上記設問 19) に回答するにあたり、どのようなことを念頭において普及予測をされたかをお聞かせ下さい。(複数選択可)



その他[内容]

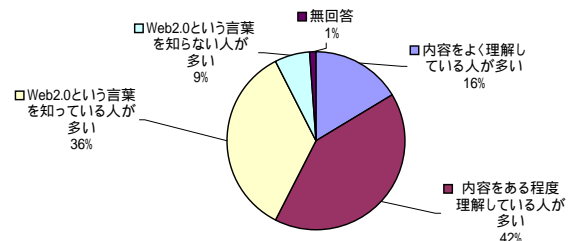
雑誌等の掲載記事数
SI案件数
自身の経験
対象製品の価格がこなれること
実導入のためのアプローチ手法の整備
IT投資予算
(http://blog.virtual-tech.net/2008/10/reflex_07.html)
SOAが具体的に何を指すかが曖昧なので答えづらい設問です
社会状況
利用用途、メリットが少ない
SOAの定義
イベント等、訴求の機会が増えた。

Web2.0に関するアンケート

21) Web2.0に関する御社内の理解状況についておたずねします。

内容をよく理解している人が多い	13	16.3%
内容をある程度理解している人が多い	33	41.3%
Web2.0という言葉を知っている人が多い	28	35.0%
Web2.0という言葉を知らない人が多い	5	6.3%
無回答	1	1.3%
合計	80	100.0%

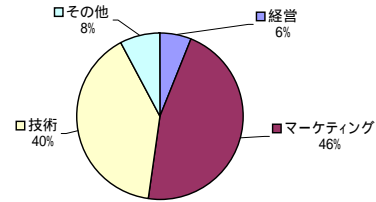
21) Web2.0に関する御社内の理解状況についておたずねします。



22)Web2.0は、どの分野の話題だと思われますか？(複数選択可)

経営	7	6.1%
マーケティング	53	46.1%
技術	46	40.0%
その他	9	7.8%
合計	115	100.0%

22)Web2.0は、どの分野の話題だと思われますか？(複数選択可)



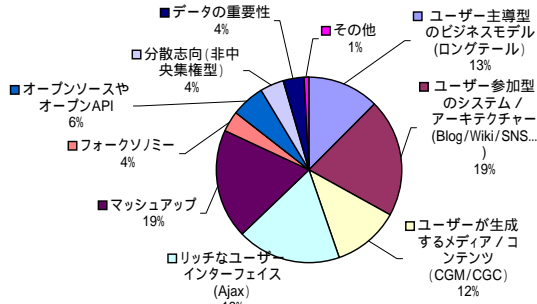
その他[内容]

たんなるコンセプト
ネットビジネス
ビジネスモデルにも言及している
「Webをより便利に」の総称
CGMとその流通基盤による集合知の活用
コミュニケーション

23)Web2.0と聞いて、何をイメージされますか？(複数選択可)

ユーザー主導型のビジネスモデル(ロングテール)	33	12.5%
ユーザー参加型のシステム/アーキテクチャー(Blog/W)	54	20.5%
ユーザーが生成するメディア/コンテンツ(CGM/CGC)	31	11.7%
リッチなユーザーインターフェイス(Ajax)	48	18.2%
マッシュアップ	50	18.9%
フォークソノミー	10	3.8%
オープンソースやオープンAPI	15	5.7%
分散志向(非中央集権型)	11	4.2%
データの重要性	10	3.8%
その他	2	0.8%
合計	264	100.0%

23)Web2.0と聞いて、何をイメージされますか？(複数選択可)



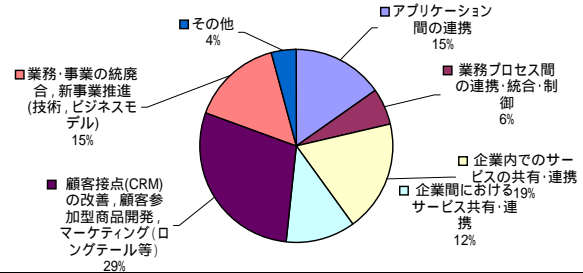
その他[内容]

廃れつつあるはやり言葉
何もイメージしない

24)Web2.0を適用してみたい対象領域はどれですか？(複数選択可)

アプリケーション間の連携	22	15.2%
業務プロセス間の連携・統合・制御	9	6.2%
企業内でのサービスの共有・連携	27	18.6%
企業間におけるサービス共有・連携	17	11.7%
顧客接点(CRM)の改善、顧客参加型商品開発、マーケティング	42	29.0%
業務・事業の統廃合、新事業推進(技術、ビジネスモデル)	22	15.2%
その他	6	4.1%
合計	145	100.0%

24)Web2.0を適用してみたい対象領域はどれですか？(複数選択可)



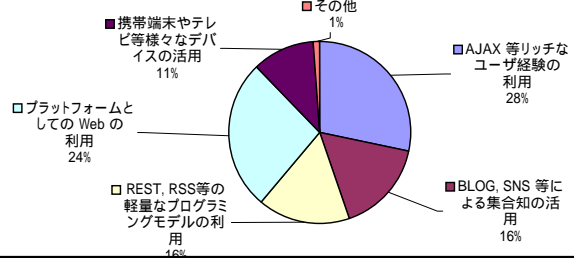
その他[内容]

思いつかない
技術でも無いものに適用は考えられない
特に考えていない
エンタープライズマッシュアップ

25)Web2.0のどの「原則」、側面が御社のビジネスにとって重要または有用と考えられますか？(複数選択可)

AJAX等リッチなユーザー経験の利用	48	28.2%
BLOG、SNS等による集合知の活用	28	16.5%
REST、RSS等の軽量なプログラミングモデルの利用	28	16.5%
プラットフォームとしてのWebの利用	45	26.5%
携帯端末やテレビ等様々なデバイスの活用	19	11.2%
その他	2	1.2%
合計	170	100.0%

25)Web2.0のどの「原則」、側面が御社のビジネスにとって重要または有用と考えられますか？(複数選択可)



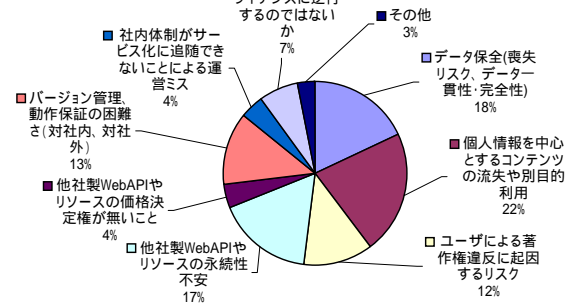
その他[内容]

ビジネスとのつながりというには、希薄
Web2.0か否かは不明だが、フラットな世界が重要と考えている

26) Web2.0的なサービスを導入する場合にリスクと思われるものは何でしょうか？ (複数選択可)

データ保全(喪失リスク、データ一貫性・完全性)	34	18.0%
個人情報を中心とするコンテンツの流失や別目的利用	41	21.7%
ユーザによる著作権違反に起因するリスク	23	12.2%
他社製WebAPIやリソースの永続性不安	32	16.9%
他社製WebAPIやリソースの価格決定権が無いこと	8	4.2%
バージョン管理、動作保証の困難さ(対社内、対社外)	24	12.7%
社内体制がサービス化に追従できないことによる運営ミ	8	4.2%
内部統制、コンプライアンスに逆行するのではないが	13	6.9%
その他	6	3.2%
合計	189	100.0%

26) Web2.0的なサービスを導入する場合にリスクと思われるものは何でしょうか？ (複数選択可)



その他[内容]

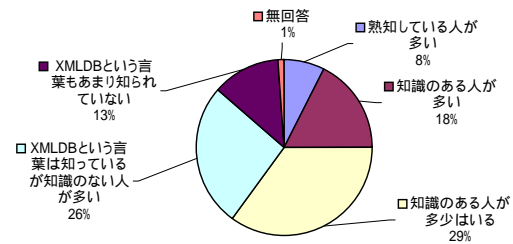
- 顧客サポートの困難性
- 特に無し
- 社の同意が得られない、社内のコンセンサスが得られない
- 解らない

XMLデータベース(以下XMLDB)に関するアンケート

27) XMLDBに関する御社内の認知度についておたずねします。

熟知している人が多い	6	7.5%
知識のある人が多い	14	17.5%
知識のある人が多少はいる	28	35.0%
XMLDBという言葉は知っているが知識のない人が多い	21	26.3%
XMLDBという言葉もあまり知られていない	10	12.5%
無回答	1	1.3%
合計	80	100.0%

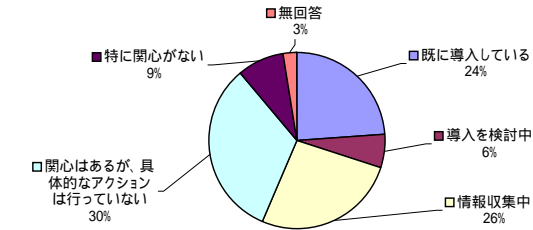
27) XMLDBに関する御社内の認知度についておたずねします。



28 - 1) XMLDBに対する御社の取組み/採用状況はいかがでしょうか？

既に導入している	19	23.8%
導入を検討中	5	6.3%
情報収集中	21	26.3%
関心はあるが、具体的なアクションは行っていない	26	32.5%
特に関心がない	7	8.8%
無回答	2	2.5%
合計	80	100.0%

28 - 1) XMLDBに対する御社の取組み/採用状況はいかがでしょうか？



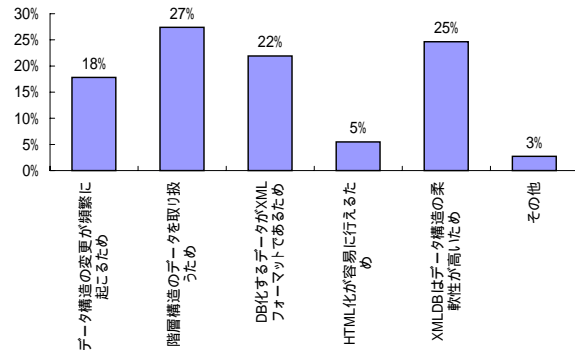
特に関心がない[理由]

- RDBMSが中心である
- RDBやキー・バリュー型ストアで十分。
- それほどメリットが感じられない

28 - 2) XMLDBの導入を検討されている(またはすでに導入されている)理由をお聞かせください。(複数選択可)

データ構造の変更が頻繁に起こるため	13	18%
階層構造のデータを取り扱うため	20	27%
DB化するデータがXMLフォーマットであるため	16	22%
HTML化が容易に行えるため	4	5%
XMLDBはデータ構造の柔軟性が高いため	18	25%
その他	2	3%
合計	73	100%

28 - 2) XMLDBの導入を検討されている(またはすでに導入されている)理由をお聞かせください。(複数選択可)



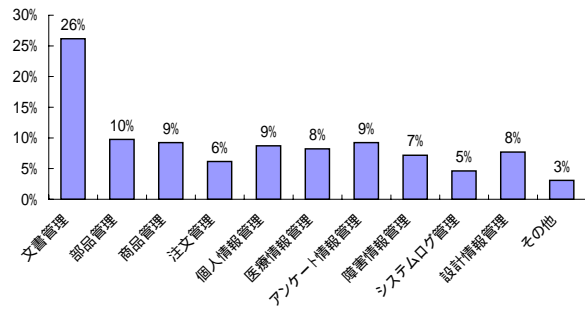
その他[内容]

- 自社製品との連携動作を確認するため
- 検討していない

29)XMLDBを適用している / 適用してみたい対象業務はどれですか？ (複数選択可)

文書管理	51	26%
部品管理	19	10%
商品管理	18	9%
注文管理	12	6%
個人情報管理	17	9%
医療情報管理	16	8%
アンケート情報管理	18	9%
障害情報管理	14	7%
システムログ管理	9	5%
設計情報管理	15	8%
その他	6	3%
合計	195	100%

29)XMLDBを適用している / 適用してみたい対象業務はどれですか？ (複数選択可)



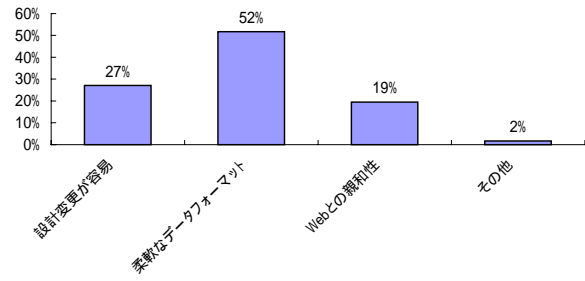
その他[内容]

サービスや機器向け情報の管理とFS的なストレージ
ノウハウ管理
特に無し
特になし
検索
メタデータが重要な位置を占めるコンテンツ管理

30)御社にとってXMLDBのどのような点が有用である / 有用になるであろうとお考えでしょうか？ (複数選択可)

設計変更が容易	32	27%
柔軟なデータフォーマット	61	52%
Webとの親和性	23	19%
その他	2	2%
合計	118	100%

30)御社にとってXMLDBのどのような点が有用である / 有用になるであろうとお考えでしょうか？ (複数選択可)



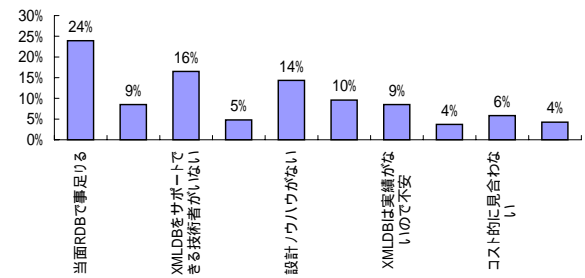
その他[内容]

特に無し
特になし

31)XMLDBを導入する場合に懸念/障壁があるとすれば、それは何でしょうか？ (複数選択可)

当面RDBで事足りる	45	24%
XMLDBの知識がない	16	9%
XMLDBをサポートできる技術者がいない	31	16%
XML形式のデータを取り扱った経験がない	9	5%
設計ノウハウがない	27	14%
事例が少ない	18	10%
XMLDBは実績がないので不安	16	9%
機能が不十分	7	4%
コスト的に見合わない	11	6%
その他	8	4%
合計	188	100%

31)XMLDBを導入する場合に懸念/障壁があるとすれば、それは何でしょうか？ (複数選択可)



その他[内容]

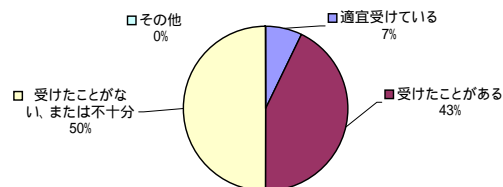
プログラマ不足
当面RDBで事足りると思っている人が多い
Update機能の面で問題あり
性能が不十分
XMLDB対応のリッチクライアントがない
パフォーマンス
拡張性が高いといっても、結局スキーマ定義しないと利用しづらい
パフォーマンスを引き出せない

【ユーザー企業会員にお尋ねします】

32)御社はシステムインテグレータやベンダーからXMLDB関連情報やXMLDBによる提案を受けておられますか？

適宜受けている	2	7.1%
受けたことがある	12	42.9%
受けたことがない、または不十分	14	50.0%
その他	0	0.0%
合計	28	100.0%

32)御社はシステムインテグレータやベンダーからXMLDB関連情報やXMLDBによる提案を受けておられますか？

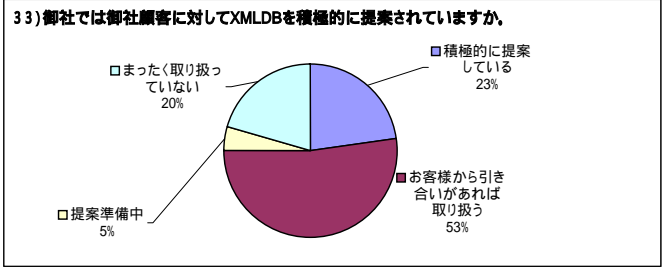


その他[内容]

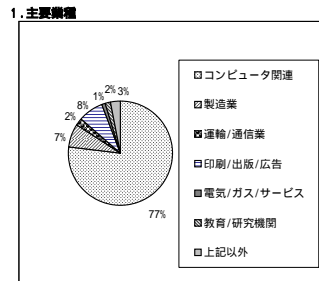
【システムインテグレータの方へのお伺いします】

33) 御社では御社顧客に対してXMLDBを積極的に提案されていますか。

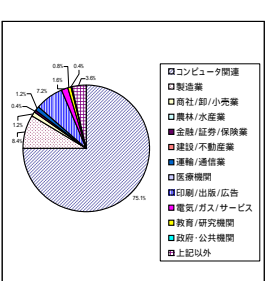
積極的に提案している	10	22.7%
お客様から引き合いがあれば取り扱う	23	52.3%
提案準備中	2	4.5%
まったく取り扱っていない	9	20.5%
合計	44	100.0%



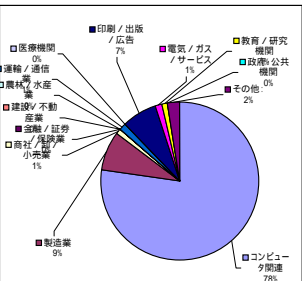
<比較データ:2001年度~2008年度>
2001年度



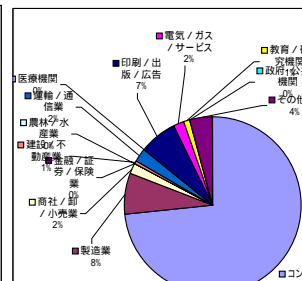
2002年度



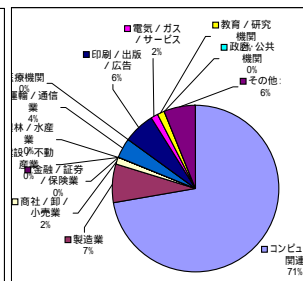
2003年度



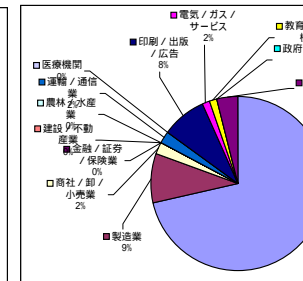
2004年度



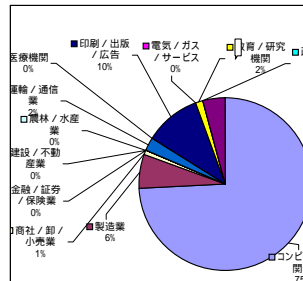
2005年度



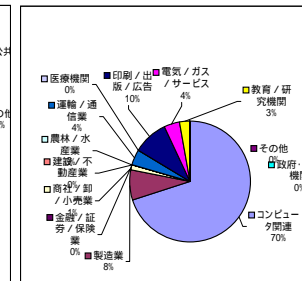
2006年度



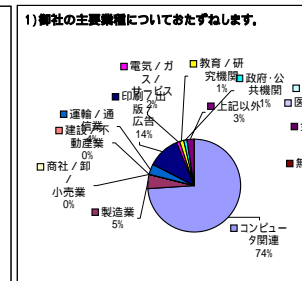
2007年度



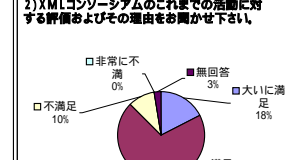
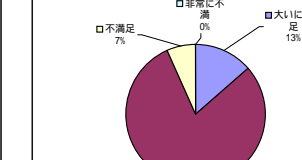
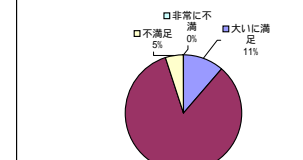
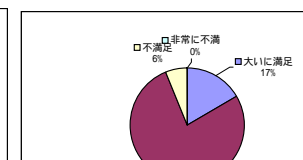
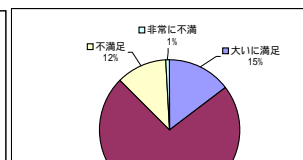
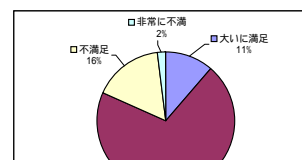
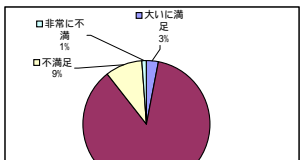
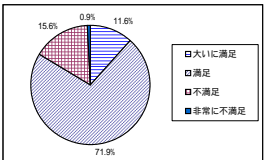
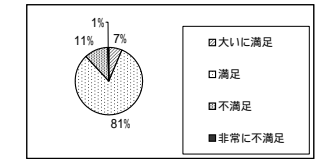
2008年度



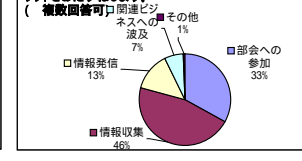
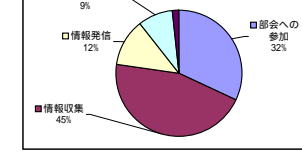
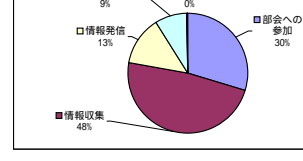
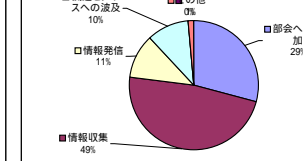
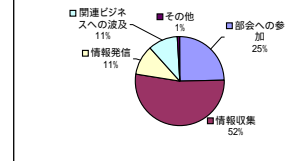
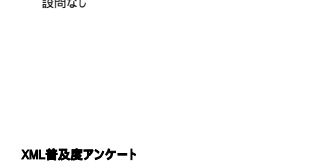
2009年度



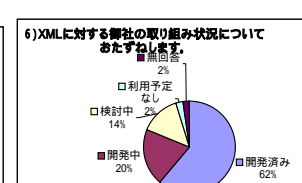
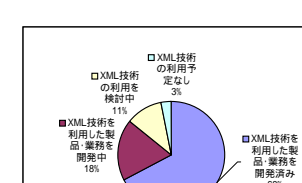
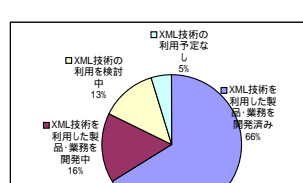
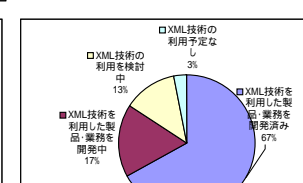
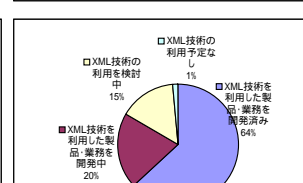
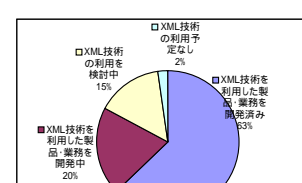
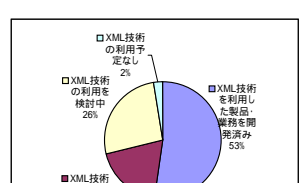
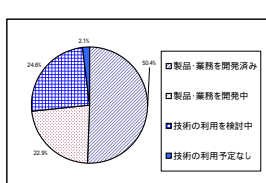
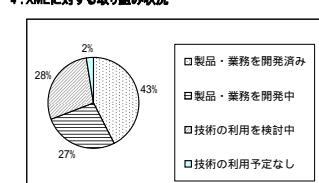
2. XMLコンソーシアムの活動に対する評価



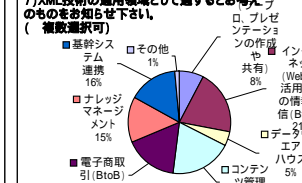
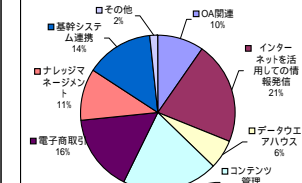
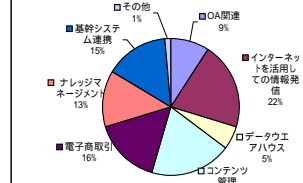
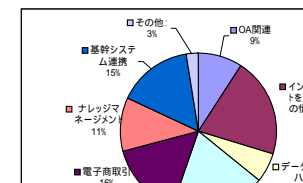
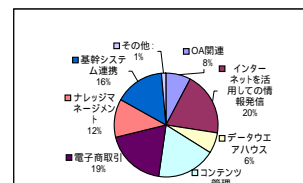
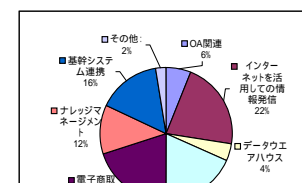
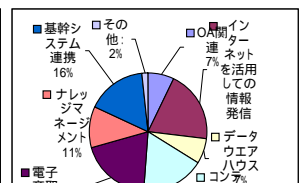
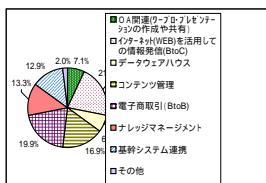
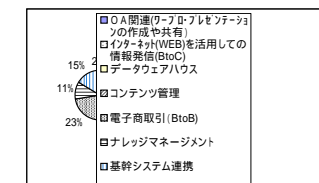
3. XMLコンソーシアムに参加する期待やメリット



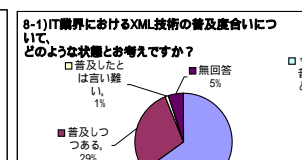
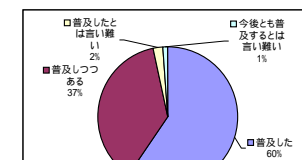
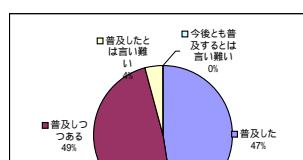
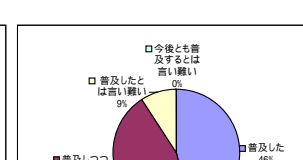
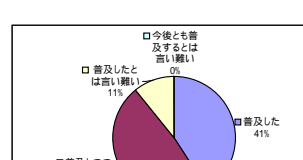
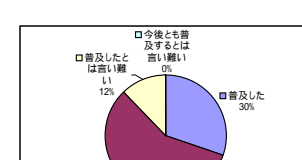
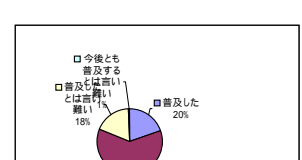
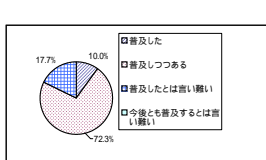
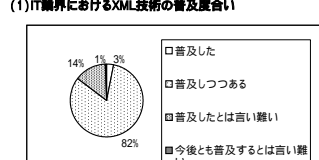
4. XMLに対する取り組み状況



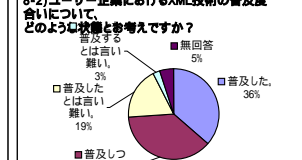
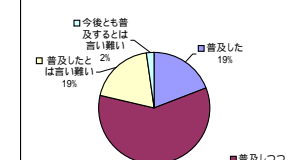
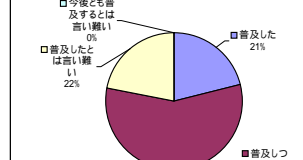
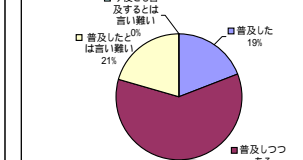
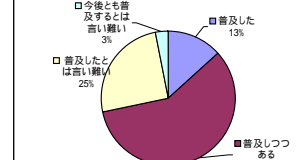
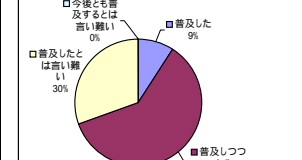
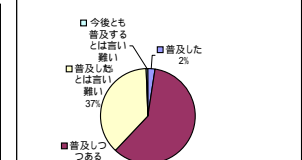
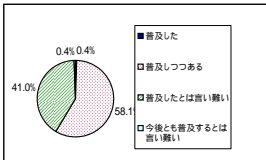
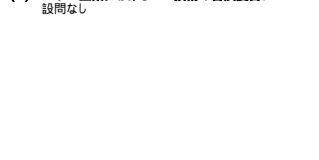
5. XML技術の活用領域として適するもの(複数選択)



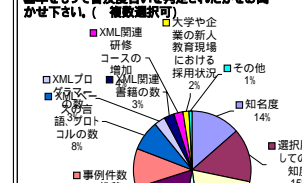
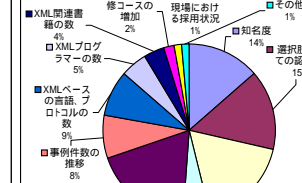
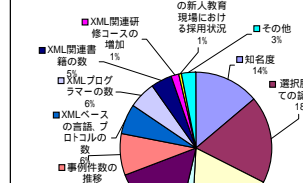
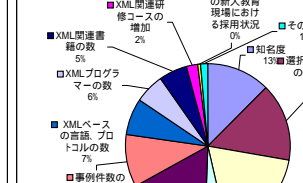
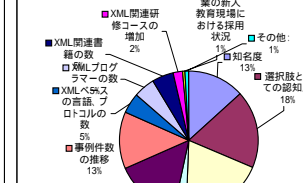
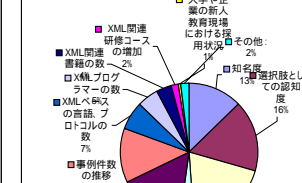
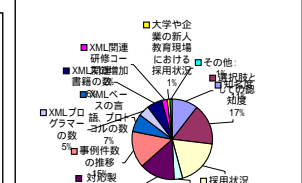
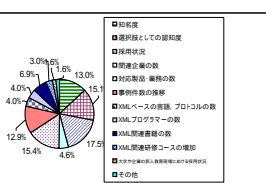
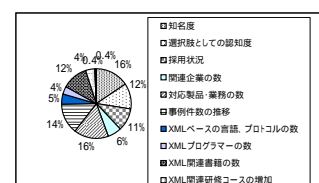
6. 日本におけるXML技術の普及度合い



(2)ユーザー企業におけるXML技術の普及度合い



7. 上記図表を閲覧するにあたり、普及度合いを判定した基準(複数選択)



1) 弊社の主要業務についておたずねします。

2) XMLコンソーシアムのこれまでの活動に対する評価およびその理由をお聞かせ下さい。

3) XMLコンソーシアムに参加する期待やメリットをおたずねします。(複数回答可)

6) XMLに対する取り組み状況についておたずねします。

7) XML技術の活用領域として適するもの(複数選択)をおたずねします。

8-1) IT業界におけるXML技術の普及度合いについて、どのような状態とお考えですか?

8-2) ユーザー企業におけるXML技術の普及度合いについて、どのような状態とお考えですか?

9) 上記図表(8)を閲覧するにあたり、どのような基準をもって普及度合いを判定されたかを聞かせ下さい。(複数選択可)

14. ユーザー企業における取り組み状況 設問なし	設問なし	設問なし						16) ユーザー企業における取り組み状況はいかがでしょうか？
15. ITベンダー会員のSOAに対する取り組み状況 設問なし	設問なし	設問なし						17) ITベンダーの会員様におたずねします。SOAに対する貴社の取り組み状況はいかがですか？
16. SOAを導入してみたい対象領域(複数選択) 設問なし	設問なし	設問なし						18) SOAを導入してみたい対象領域はどれですか？(複数選択可)
17. SOAの普及に関して 設問なし	設問なし	設問なし						19) SOAの普及に関しておたずねします。
18. 上記設問に回答するにあたり、どのようなことを念頭において普及予測をされたか(複数選択) 設問なし	設問なし	設問なし						20) 上記設問(19)に回答するにあたり、どのようなことを念頭において普及予測をされたかをお聞かせください。(複数選択可)
Web2.0に関するアンケート 19. Web2.0に関する社内の理解状況 設問なし	設問なし	設問なし						21) Web2.0に関する貴社内の理解状況についておたずねします。
20. Web2.0は、どの分野の話題だとと思われるか？(複数選択可) 設問なし	設問なし	設問なし						22) Web2.0は、どの分野の話題だとと思われるか？(複数選択可)
21. Web2.0と聞いて、何をイメージするか？(複数選択可) 設問なし	設問なし	設問なし						23) Web2.0と聞いて、何をイメージされますか？(複数選択可)

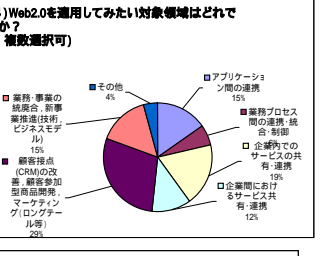
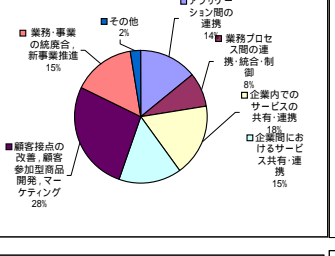
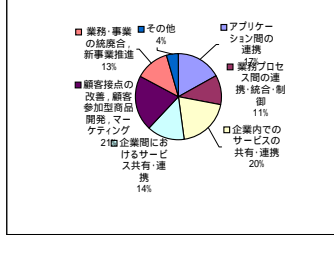
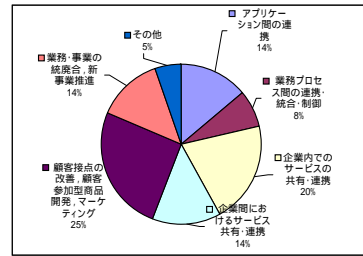
22. Web2.0を適用してみたい対象領域は？ (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



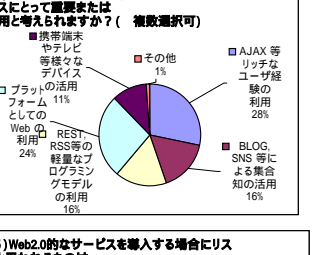
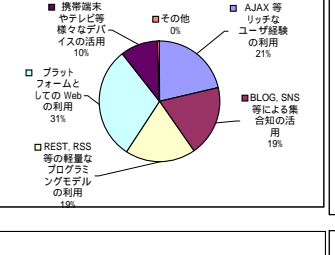
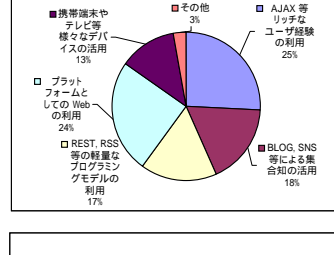
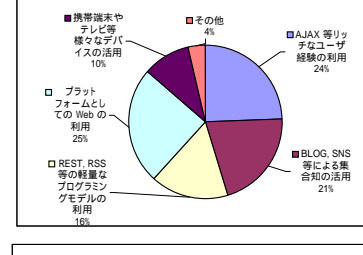
23. Web2.0のどの原則、側面がビジネスにとって重要または有用と考えられるか？ (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



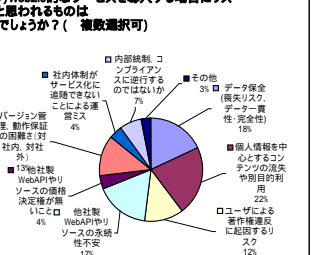
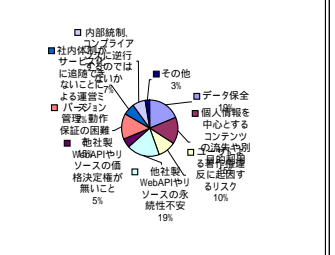
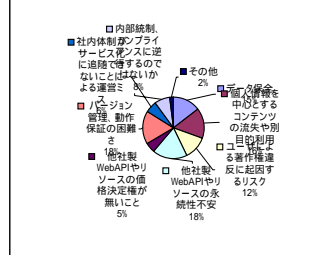
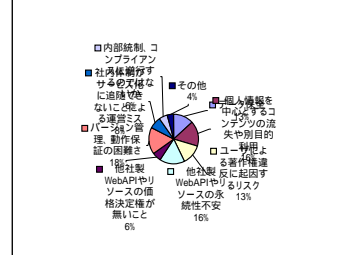
24. Web2.0的なサービスを導入する場合にリスクと懸念されるものは？ (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



XMLデータベース(以下XMLDB)に関するアンケート

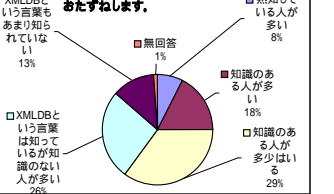
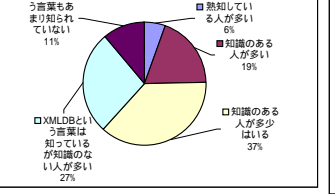
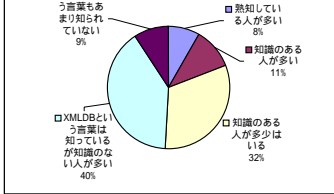
25. XMLDBに関する社内の認知度

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



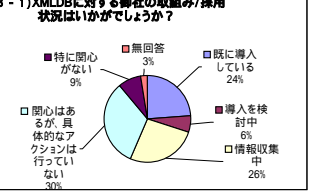
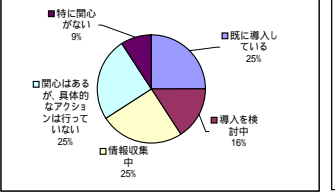
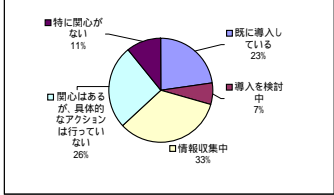
26 - 1. XMLDBに対する取組み/採用状況

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



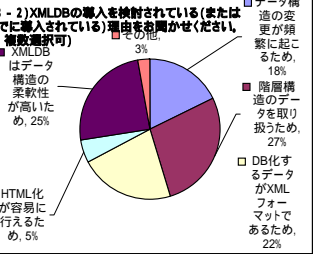
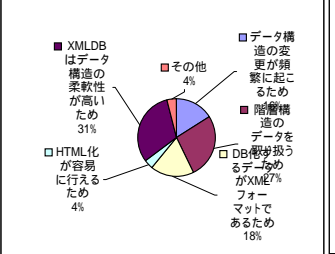
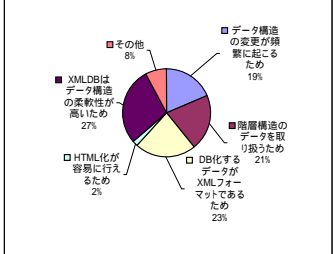
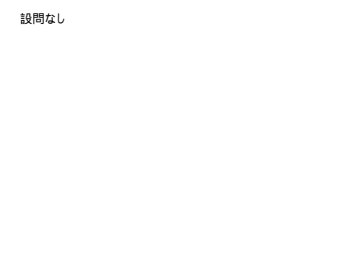
26 - 2. XMLDBの導入を検討している(またはすでに導入している)理由 (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



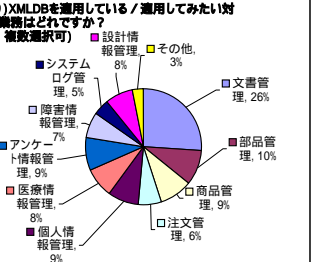
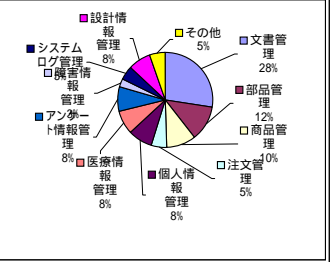
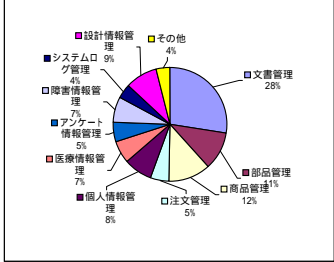
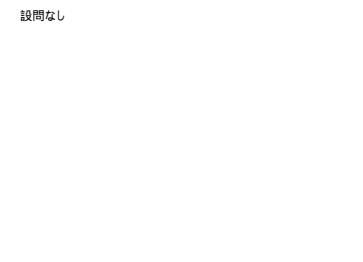
27. XMLDBを適用している/適用してみたい対象業務 (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



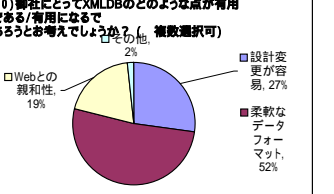
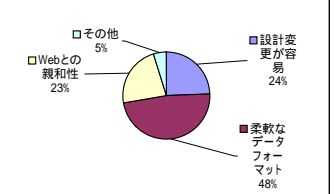
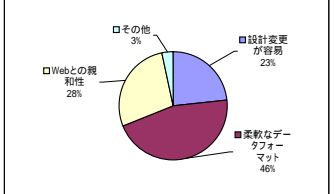
28. XMLDBのどのような点が有用である/有用になるであろうと考えているか？ (複数選択可)

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



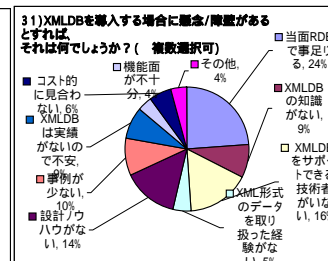
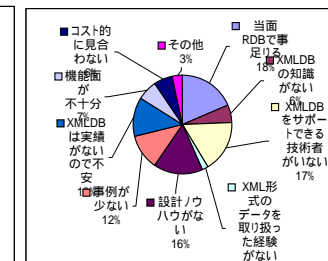
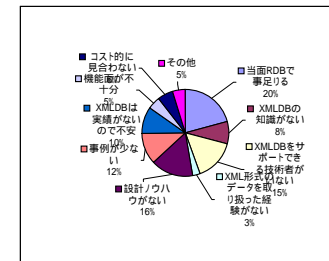
29. XMLDBを導入する場合に懸念/障壁があるとすれば、何？ (複数選択可)
設問なし

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



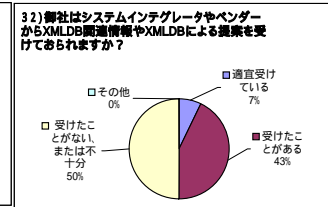
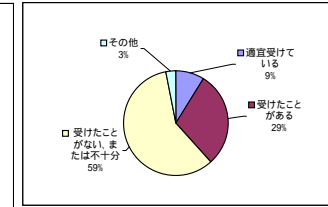
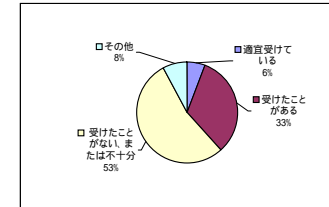
【ユーザー企業への質問】
30. システムインテグレータやベンダーからXMLDB関連情報やXMLDBによる提案を受けているか？
設問なし

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし



【システムインテグレータへの質問】
31. 顧客に対してXMLDBを積極的に提案しているか。
設問なし

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし

設問なし

